



平成30年3月22日

大学院ヘルスシステム統合科学研究科を新設

本学は平成30年4月に「大学院ヘルスシステム統合科学研究科」を新設します。

本研究科は、健康にかかわるさまざまな「現場」つまり Health System をテーマに、課題やその背景を発見、「解析」し、解決策を「創り」、「使う」ことで、現場の「改善」につなげる、課題抽出から改善に至るサイクルを科学的に実践する課題解決能力を育てます。岡山大学として、「研究科」の新設は13年ぶりのことです。

<キーワード>

統合科学， 医工連携・文理融合， 学際的教育・研究

<設置の主な特徴>

- **カリキュラム**：健康にかかわるさまざまな「現場」つまり Health System をテーマに、課題やその背景を発見、「解析」し、解決策を「創り」、「使う」ことで、現場の「改善」につなげる、課題抽出から改善に至るサイクルを科学的に実践する課題解決能力を育てます。
- **統合科学**：科学技術の各分野（医療系・人文社会科学系・工学系）の方法や知識を統合して活用する能力を授けます。学位名称には本邦初の「統合科学」を付します。
- **二課程（修士・博士）の同時設置**：科学的な課題解決能力を持つ人材が必要とされていることから、当初より修士課程と博士課程を同時に設置します。学部卒学生は前期後期一貫プログラムを選択でき、成績優秀な場合は最短3年で修了して博士の学位取得も可能です。

<背景・目的および見込まれる成果>

「大学院ヘルスシステム統合科学研究科」は平成30年4月に岡山大学の8番目の研究科として発足します。

現在、私たちは少子高齢化や地域経済社会の疲弊に直面しています。世界各国もこれから同様の課題に直面していくでしょう。これに対する具体的な解決策として、新たなものづくりや制度の創出が必要で、それらは社会で活用され、人々に幸福をもたらすことが望まれます。本研究科は、このような背景と論理を踏まえ、医療科学、科学技術、人文社会科学を統合した科学の教育・研究を行ってこの実現に貢献します。その結果、学生は各自本研究科へ入学するまでに得た技術や知識を軸に、医療や福祉など健康に関連した現場や関連企業などを中心に社会のあり方や課題を見だし、これを科学的に分析し、人々と協働して新しいものづくりや社会の仕組み作りができるようになります。この構想は、本学も推進する国連の持続可能な開発目標（SDGs）達成のための課題解決的思考ができる人材



PRESS RELEASE

の輩出に大きく貢献します。また、本研究科は社会人の学び直し（リカレント教育）や留学生の受入れ・派遣（グローバル化）も積極的に推進します。同時に研究力の維持向上に努め、産学連携・地域連携も視野に入れて発展を図っていきます。

関連する企業や医療機関の皆様にはこの教育の趣旨をご理解いただき、地域発展を共に成し遂げていくためのご協力をお願いしたいと考えています。

<補足・用語説明>

「ヘルスシステム」とは

ここで用いているヘルスという言葉は英語の health の意味、すなわち、「人間が病気に影響されず、健康で幸せであることの全て」を指しています。システムという言葉も英語の system の意味、すなわち、「構成要素とそれらの相互関係の全て」を指しています。これらを合わせて、本研究科名のヘルスシステムとは、「人間が健康で幸せであるための構成要素と相互作用の全て」を意味しています。

<お問い合わせ>

岡山大学自然系研究科等事務部ヘルスシステム
統合科学研究科設置準備室

担当課長 近藤一彦

（電話番号）086-251-8811

（FAX番号）086-251-8021